

第11分科会 「社会形成能力」運営概要

- | | |
|---------|--|
| 【研究課題】 | 社会形成能力を育む教育の推進 |
| 【研究の視点】 | 1 社会の発展に貢献する資質・能力・態度を育む教育活動の推進
2 身の回りの仕事や環境に関心を持ち、目標に向かって努力する態度を育成するキャリア教育の推進 |

分科会研究協議の運営計画

今日、地域社会の教育力の低下等が問題になっている。本来、地域社会は、地域住民の相互扶助で成り立ち、地域活動に子どもたちが参加し、先輩から学ぶ中で継承されてきた。しかし、人間関係の希薄化により、子どもたちが異なる世代の人々と触れあう機会が失われつつある。

このために学校は、子どもたちに、社会が直面する問題に正面から向き合おうとする強い意志を養い、社会を構成する一員として他者と協力しながらその解決に主体的に取り組もうとする態度を身に付けさせねばならない。

校長は、教育課程の編成に当たり、身近な社会問題について、子どもたちなりに考え、行動できるような教育活動やキャリア教育等の視点を取り入れることが重要である。その学びを通して、社会的・職業的自立に必要な力、コミュニケーション力等を育み、将来、社会の構成員として主体的に活躍できる人材を育成することができると考える。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、よりよい社会の形成者として必要な課題解決の能力や態度などを育むための具体的な方策と成果を明らかにする。

- | | |
|-----|---|
| 視点1 | 社会の発展に貢献する資質・能力・態度を育む教育活動の推進
・地域の特色を生かした体験的な学習活動や文化、伝統との出会いの在り方
・夢や希望を持ち、他者と協働して主体的に社会参画・貢献しようとする態度を育てる教育活動 |
| 視点2 | 身の回りの仕事や環境に関心を持ち、目標に向かって努力する態度を育成するキャリア教育の推進
・充実した体験的活動を実現するための家庭、地域との連携の在り方
・キャリア教育を推進する上での校長の役割と組織的な教育活動 |

昨年度までの成果・課題

- 【成果】視点1...地域子どものよさを発信することで、地域の一員という意識を高め、自己有用感・肯定感を高めることができた。また、様々なつながりを大切にすることや自主的な学びあいの授業などから、夢や希望をもって生きようとする自立心が育つ。
- 視点2...「ふるさとキャリア教育」の推進により、「ひと」とのつながりが生まれている。また、自治体の総合戦略と呼応することで、多くの団体からの協力が得られやすくなった。
- 【課題】視点1...人間関係形成能力・課題対応能力の育成を主体的・対話的で深い学びを学校教育の中でどのように進めていくことが大切である。また、地域の人材を発掘し学校教育にどのように取り入れていくのかについて、学校体制で取り組むことが大切が、教員の負担感も少ない。
- 視点2...様々な体験的な活動があるが、単なるイベントにしないため、目標を共有することが求められる。また、コミュニティ・スクールについて、地域の子どもの成長のための仕組みを作るために、校長の指導性が求められる。

研究発表の概要

【視点1】社会に貢献する資質・能力・態度を育成する教育活動の推進

研究発表者：沖縄県 石垣市立平久保小学校 校長 座間味 玲子

「地域の特性を生かした社会形成能力の育成」

～子どもの笑顔・保護者の笑顔・教職員の笑顔・地域の笑顔を目指して～

発表の趣旨

僻地という特性を強みと捉え、地域資源、地域人材等を最大限生かし、他者と関わる中で「なりたい自分」を思い描き、自己実現していくための教育課程の創造についての校長のリーダーシップの重要性。

発表の概要

八重山地区43の小中学校に「社会形成能力」についてアンケート行った結果、地域行事や伝統芸能、自然体験、集合学習、稲作体験など多くの活動を地域人材の活用という視点で行っていることが分かった。その活動はいわば地域愛を育み活動であり、全体をコーディネートすべく校長の役割は非常に重要である。

【視点2】身の回りの仕事や環境に関心を持ち、目標に向かって努力する態度を育成するキャリア教育の推進

研究発表者：北海道 枝幸町立乙忠部小学校 校長 桜井 和則

「子どもの夢や希望を育むキャリア教育の推進」

～学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進と校長の在り方～

発表の趣旨

子どもたちが他者と協力する態度や資質を身に付け、さらに社会の変化に対応できる力を育成するために果たす学校の役割とキャリア教育をする上での校長の役割を明らかにする。

研究の概要

全国学力・学習状況調査の質問紙の結果から特徴的な数値に着目し、ウィークポイントの補強とストロングポイントの更新を目指した。特に、キャリア教育への取り組みでは、地域の教育力を活用し、さらには、各市町村の取り組みと学校での実践を結び付ける教育課程の編成を校長会として取り組んできている。

協議の流れ(案)

1 開会・日程確認(10分)	5 全体協議(20分)	9 まとめと今後の課題
2 趣旨説明(10分)	6 休憩(15分)	(10分)
3 研究発表 視点1・2(40分)	7 グループ協議(45分)	10 連絡・閉会(3分)
4 グループ協議(20分)	8 全体協議(30分)	

討議の柱(案)

【視点1】社会に貢献する資質・能力・態度を育成する教育活動の推進における校長の役割

キーワード：地域連携，コミュニ・ケーション，キャリア教育，文化継承，他者との協働
体験活動，社会参画

【視点2】身の回りの仕事や環境に関心を持ち、目標に向かって努力する態度を育成するキャリア教育の推進と校長の役割と指導性

キーワード：地域・家庭連携，小中高一貫，体験活動，地域貢献，自己肯定感，働く意義
職業的自立

お願い

グループ内で名刺交換を行いますので、名刺6枚程度お持ちください。

グループ編成及びグループ討議の司会・記録につきましては、後日、北海道小学校長会ホームページに分科会参加者名簿（座席表）を掲載しますのでご確認ください。

各地区・各校の現状や取組についてグループで討議・交流いたします。

地区・自校で本分科会のテーマ(社会参画，地域貢献，キャリア教育など)に則した取組がありましたら、A4 1枚程度に端的にまとめ(表裏印刷可)，6部程度お持ちよりください。